

# 令和3年度普通徴収切替理由書 兼 仕切書

指 定 番 号

栃木県壬生町長 様

給与支払者の 名称(氏名)		
符号	普通徴収切替理由	人数
普A	総従業員数が2人以下 (下記「普B」～「普F」に該当する全ての(他市区町村分を含む)従業員数を差し引いた人数)	人
普B	他の事業所で特別徴収(乙欄該当者など)	人
普C	給与が少なく税額が引けない(年間の給与支給額が930,000円以下)	人
普D	給与の支払が不定期(給与の支払が毎月でない)	人
普E	事業専従者(個人事業主のみ対象)	人
普F	退職者又は退職予定者(5月末日まで)及び休職者	人
合 計		人

栃木県壬生町提出用

- この普通徴収切替理由書は、当面、普通徴収を認める基準(普A～普F)を示すものです。
- 普Bは、主たる給与から合算されて特別徴収となる乙欄該当者などが対象者となります。
- 普Fの休職者とは、休職により令和3年4月1日現在で給与の支払を受けない場合に限りです。
- 当面、普通徴収を認める基準に該当し、かつ普通徴収を希望する方がいる場合は、該当する理由の右側「人数」欄に、人数を記入してください。また、個人別明細書の摘要欄に上記符号(普A～普F)を記入し、本書と併せて提出してください。
- 特別徴収に該当する方と普通徴収に該当する方がある場合は、仕切書として普通徴収の方の個人別明細書の上に挿入し総括表や他の個人別明細書と合冊して提出してください。  
(提出時の綴り方は、下図をご参照ください。)
- eLTX等の電子媒体で給与支払報告書を提出する場合は、該当する方の「普通徴収」欄に必ずチェックを入力してください。また、摘要欄に該当する普通徴収切替理由の符号(普B、普Cなど)を記入願います。(※普通徴収切替理由書の添付は不要です。)
- 普A～普Fの6項目以外の切替理由は認められません。なお、この切替理由書により普通徴収への切替を申し出た場合でも、確認の結果、特別徴収とすることがあります。

<提出時の綴り方>



<給与支払報告書個人別明細書 抜粋>

社会保険料等の金額				生命保険料の控除額		地震保険料の控除額		住宅借入金等特別控除の額																																	
円	円	円	円	円	円	円	円	円	円																																
(摘要)																																									
<h2 style="margin: 0;">普 F</h2> <p style="margin: 0;">令和3年3月31日退職予定</p>																																									
円	円	円	円	円	円	円	円	円	円																																
円	円	円	円	円	円	円	円	円	円																																
<table border="0" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">                     氏名                      氏名                      氏名                      氏名                 </td> <td style="width: 50%;">                     氏名                      氏名                      氏名                      氏名                 </td> </tr> <tr> <td>                     未 成 年 者                 </td> <td>                     外 国 人                 </td> <td>                     死 亡 退 職                 </td> <td>                     災 害 者                 </td> <td>                     心 身 障 害 者                 </td> <td>                     特 別 の 障 害 者                 </td> <td>                     養 子 と な り 親                 </td> <td>                     専 断 の 別 居                 </td> <td>                     専 断 の 別 居                 </td> <td>                     専 断 の 別 居                 </td> </tr> <tr> <td>                     就 業 先 生                 </td> <td>                     就 業 先 生                 </td> <td>                     就 業 先 生                 </td> <td>                     就 業 先 生                 </td> <td>                     就 業 先 生                 </td> <td>                     就 業 先 生                 </td> <td>                     就 業 先 生                 </td> <td>                     就 業 先 生                 </td> <td>                     就 業 先 生                 </td> <td>                     就 業 先 生                 </td> </tr> <tr> <td>                     就 業 先 生                 </td> <td>                     就 業 先 生                 </td> <td>                     就 業 先 生                 </td> <td>                     就 業 先 生                 </td> <td>                     就 業 先 生                 </td> <td>                     就 業 先 生                 </td> <td>                     就 業 先 生                 </td> <td>                     就 業 先 生                 </td> <td>                     就 業 先 生                 </td> <td>                     就 業 先 生                 </td> </tr> </table>										氏名 氏名 氏名 氏名	氏名 氏名 氏名 氏名	未 成 年 者	外 国 人	死 亡 退 職	災 害 者	心 身 障 害 者	特 別 の 障 害 者	養 子 と な り 親	専 断 の 別 居	専 断 の 別 居	専 断 の 別 居	就 業 先 生	就 業 先 生	就 業 先 生	就 業 先 生	就 業 先 生	就 業 先 生	就 業 先 生	就 業 先 生	就 業 先 生	就 業 先 生	就 業 先 生	就 業 先 生	就 業 先 生	就 業 先 生	就 業 先 生	就 業 先 生	就 業 先 生	就 業 先 生	就 業 先 生	就 業 先 生
氏名 氏名 氏名 氏名	氏名 氏名 氏名 氏名																																								
未 成 年 者	外 国 人	死 亡 退 職	災 害 者	心 身 障 害 者	特 別 の 障 害 者	養 子 と な り 親	専 断 の 別 居	専 断 の 別 居	専 断 の 別 居																																
就 業 先 生	就 業 先 生	就 業 先 生	就 業 先 生	就 業 先 生	就 業 先 生	就 業 先 生	就 業 先 生	就 業 先 生	就 業 先 生																																
就 業 先 生	就 業 先 生	就 業 先 生	就 業 先 生	就 業 先 生	就 業 先 生	就 業 先 生	就 業 先 生	就 業 先 生	就 業 先 生																																
円	円	円	円	円	円	円	円	円	円																																
円	円	円	円	円	円	円	円	円	円																																

乙欄適用又は退職年月日の記入があれば、符号の記入は不要です。  
退職予定者は、退職予定日を摘要欄に記入してください。